

生産者のみなさんへ大切なお願いです

# 米の適正生産で、 稲作経営を守ろう

生産調整を機に  
新たな品目に  
チャレンジ!

大規模なので  
少しの米価下落  
も心配...



これからも米を  
作りたいから  
輸出を検討!

効率を上げる  
ために新たな  
技術を導入!

農業者のチャレンジは **収入保険** がバックアップ!

## 農業経営収入保険の **3大補償**

コロナ禍に対応できるのは  
**収入保険** だけ!

### その1 経営安定を支える 総合補償

- ・自然災害に加え、**価格低下にも対応**
- ・品目に左右されず  
**農業収入全体を補償**

### その2 経営発展を助ける チャレンジ補償

- ・新規作物導入や6次産業化、輸出への取組  
など、**新たなチャレンジのリスクを低減**
- ・規模拡大も収入補償

### その3 経営評価を高める 信用保証

- ・収入補償により  
**対外的な信用力がアップ**
- ・金融機関も**資金融通に配慮**

自然災害や病虫害、  
鳥獣害などで  
収量が下がった

市場価格が下がった

災害で  
作付不能になった

けがや病気で  
収穫ができない

倉庫が浸水して  
売り物にならない

取引先が倒産した

盗難や運搬中の  
事故にあった

輸出したが  
為替変動で大損した

詳しくは、お近くの



お問い合わせはこちら



精米を請け負う生産者の皆さんは食品衛生法の改正に伴い、**令和3年(2021年)6月1日**から**営業の届出及びHACCPに沿った衛生管理の実施が義務化**されます。

詳細は県のホームページにチラシを掲載してあります。ご確認ください。

QRコードからも  
ご覧頂けます



### 長野県農業再生協議会

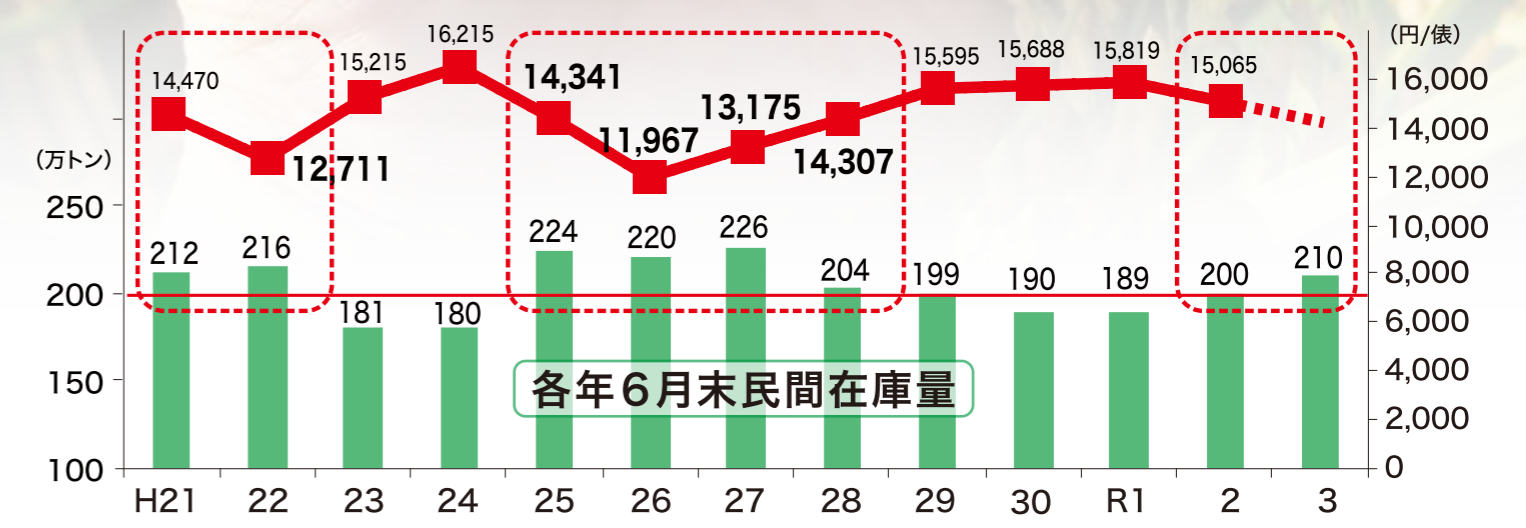
長野県、JA長野中央会、JA全農長野、食料集荷共同組合、市長会、町村会、農業会議、農業開発公社、NOSAI長野、長野県農業経営者協会、長野県農業士協会

現在は既に在庫過多。**米価下落水準**です。

民間在庫量**200万トン**を超えると、米価が下落し、収入が下がります。

令和2年産は既にこの水準。令和3年産で生産調整に取り組まなければ**更に米価が下がる恐れ**があります。

### 相対取引価格



一人ひとりが米の需給状況を理解して、  
生産数量目安値に沿った適正生産に努めてください。



# 米あまりの時代に**3つの視点**で立ち向かう 「水田農業トリプルアップ運動」

米の需要は、人口減少・食の多様化などにより、減少が見込まれています。これらの情勢に負けない水田農業を展開するには、経営の体質強化が必要です。

3つの視点で自らの経営をステップアップしましょう!

## 1. 競争力アップ

- 野菜等の高収益作物の導入による経営の複合化
- 麦、大豆、そばの収量・品質の向上
- 加工用米・新規需要米を組み合わせた作期分散

詳しくは右ページをCheck!



## 2. ブランド力アップ

- 1等米比率全国1位により長野県産米の品質をPR
- 県オリジナル品種「風さやか」の作付拡大
- 実需者ニーズに合わせた麦・大豆の品種転換



## 3. 収益力アップ

- スマート農業技術の導入により作業効率を向上
- 省力、低コスト技術の積極的な導入
- トヨタ式カイゼン方式の導入による効率化



### 野菜などの**高収益作物導入**で経営のシフトチェンジ!!



#### 導入のポイント

- ① 機械化が可能な品目で取り組む
- ② 大面積栽培が可能な品目で取り組む
- ③ 水稲と作業競合しない品目で取り組む
- ④ 高収益作物専門の人材や経営部門を準備

#### 複合経営の所得モデル /



水稲 10ha

・所得  
130万円(試算)

・労働時間  
1,320h/年



白ネギ 1ha

・所得  
500万円(試算)



水稲 9ha

・労働時間  
4,100h/年



ジュース用トマト 1ha

・所得  
310万円(試算)



水稲 9ha

・労働時間  
2,600h/年

米だけの経営から、需要の高い野菜などへの品目への転換・導入を進める中・長期的取組として、**意欲のある生産者の皆さんを積極的にサポート**するため、**後日意向調査**を実施します。

### 〈参考〉米作りによる生産調整に取り組む場合の所得イメージ

取組	適する経営タイプ	ポイント	所得モデル (生産物収入 + 交付金 - 経営費)
加工用米	JA出荷メインの米中心	・集荷団体等と相談することで、米作りをしながら生産調整を行えます。 ・多収品種や低コスト栽培に取り組むことで更に所得向上を狙えます。	<b>7,000円/10a(注)</b>
新市場開拓用米(輸出用米等)	個別販売メイン 乾燥調製施設保有	・まだまだ需要がある海外市場に向けた取り組みです。 ・県内輸出取組事業者を紹介できます。 (詳しくはお近くの農業農村支援センター農業農村振興課まで)	<b>10,000円/10a</b>
麦・大豆の増産	麦・大豆に取り組んでいる	・栽培性だけでなく、実需が求める品種選定が重要です。 ・排水対策や防除などの基本技術を守り、収量を上げましょう。 ・麦は4年産に向けた取り組みをお願いします。	<b>28,000円/10a(小麦)</b> <b>17,000円/10a(大豆)</b>
(比較)主食用米	—	—	<b>13,000円/10a</b>

(注)加工用米は、酒造好適米を減産して取組む場合、追加支援を検討しています。加工用米、新市場開拓米はコシヒカリでの取組を想定しています。所得金額は令和2年度の水田活用の直接支払交付金、長野県農業経営指標、令和2年11月現在の長野県再生協議会聞き取り単価により試算したものです。国の制度変更や販売単価の増減により、変わる場合があります。また地域ごとの支援もあるため、より具体的な所得試算は、お近くの地域農業再生協議会にお問い合わせください。